



君さんはBARで20冊も売ったという話ですよ。
写真家は他のカメラ雑誌と同列の価値判断をするから
買ってくれないんだって。だから文化に理解のある人に
売らなだって。だからBARのママさんにうまく頼らな
だって……。 (スミオみやげ話より)

かんこうちかんこうち しとらやったとスミオ支部
長は話し始めた。観光地 観光地 してなかったというのを、近頃はヤリ
の五ヶ所并で 言ったのである。「観光地 観光地 しとらへんだ」という
伊勢弁より 大分耳当たりが柔かい。

「土地の人と客とが あんまり溶けあっている 観光地は、ほかに
ありません。楽しかったですよ。」……以下は超特急で書いて貰った
長崎での全国理事会の はなしである……

● 全国理事会が終って、長崎支部の人達が、せっかく案内して
くれたというのに、私は、私のちよとした油断のため、途中で
一行から逸(はぐ)れてしまった。

同じ道を歩いていると信じていても、油断すると、いつの間
に 逸れてしまうこともある。全国総会や 全国理事会で羅針
盤を合わせておくことも大切。 どうも 今回の全国理事
会を ちよと 大切にできなかった ところが あったな。

● 全国理事会の場に到着したのは、写真合宿の終了直前。
伊藤知也先生の 講演の最後のところを 2~3分聞いた。
ほんの 2~3分聞いただけで、その講演が いかにも素晴らしいもの
であったかが 推察された。「そんなに素晴らしいものであるら
う、三重へお呼びして 是非話して貰ったら」とスミオガッパ
が言ったとしても、それは甘えというもの。オー、知也先生
が引受けてくれるはずもない、万が一にも引受けてくれて
その話が聞けたとしても、80年代の初の全国理事会の
場に於いて聞く 真価には とても 及ばないであろう。
大損をした。

● 17日の夜には「文化人と語る会」というのがあった。
これも日程が取れなくて不参加。伊藤逸平、伊藤知也、
丹野章、目島計一、小池汪、竹内敏信、藤井茂。
出席者のメンバーを見ただけでも、うん、これを 損をした。

● 「長崎は乗物で見物する所ではない。歩いて見物する
のが一番いい。」と長崎の人が教えてくれました。これは
全く ほんとうでした。(今後長崎へ行かれる人のために一言) ↑

会
● 理事で決ったこと。
機関紙活動方針(案)が 全員一致で採決されました。討論では
(ちよびり 賛成意見も出ましたが)反対意見が圧倒的でした。それ
が、採決では 全員一致の賛成でした。
機関紙発行については どういうことにつけても 色々問題
があります。定価とか、発行が あくたしたこととか、紙代の高騰
とか、会員の有料購入とか……。
問題は あるにしても、集団の顔であり、会員の指針であるだ
けでなく、日本で唯一の写真理論紙である 機関紙「写真リズム」
を なんと 守り育て 行こうということに 一致したのです。そして
色々問題点は、それぞれの支部の活動の中で 徐々に改善して
いくことに 努力することが 確認されたのです。
(伊藤純雄)

SPOTONE?

スポトーン? スポトーン?

スポトンとは なんでしょうか。

スポトンとは 東京から O先生から 清水さんの所へ送られて
きたもの。

スポトンとは アメリカ製の スポットインキ 決定版。

スポトーンは フェロ印上げ 際、滑り 偉力。

スポトーンは R.Cペーパーにも 滑り 偉力。

スポトーンの 詳細は 3月2日 古市公民館で 初公開。

シークレットの快挙 竹内講師来たる!

3月2日(日) 古市公民館にて午後1時より 夜まで。参加
時刻自由。見学だけの人 300円。単写真(何枚でも) 500円。
組写真の人 1,000円 の 予定。

左右の絵を比べて 違う所を 10ヶ所 探して下さい。
(但し色の濃淡の誤差は 除く) (探がすのが 面倒な人は 老化進行中)

答は 35号にあります。 所要時間 制限なし。

